

2026CLUBMAN ロードレース第3戦

「公式通知」

日時：2026年9月20日(日)

場所：筑波サーキット 2070m

1; タイムスケジュール (ホームページで発表)

- 1) ワンデー開催のためタイムスケジュールは別紙の通りです。遅れないようにご集合ください。
- 2) タイムアタック時にも必ずゼッケンとボンダーを付けておくこと。

2; 駐車場 ※入場方法は別紙参照

1) 特別な車両以外はAパドックに駐車できません。

- 2) 入場方法→北(F)ゲートから入場～Bパドック医務室先からコースを横断～ドライバースタンド脇からAパドックへ～レースマシンと荷物等を下ろす(テント使用は可能)～トランポはコース外のP1-P2に駐車すること。

※Aパドック通行証がなく移動しない車両はチェックします。度重なる場合は当該クラブの出場停止処分とする。

※タイムアタックの時間が早いクラスはトランポをコース外に置き、人と荷物はトンネルを通ることもお勧めします。

- 3) **AVCC** は上記ルートから芝生エリアにバイク・トランポとも駐車。朝の集合はレギュラークラスの後に並んだ方がスムーズです。**LOC** グループはBパドックにバイク・トランポとも駐車してください。

- 4) **MAX、ED3000** グループはコース外エリア(P1-P2)に駐車してください。

- 5) サイドカーグループは当日AM5:45までにグランドスタンド側(1コーナー寄り)に集合しコース横断。Cゲート部分からサイドカー駐車エリアに入場。トランポはコース外へ移動(P1-2)してください。

3; 入場

- 1) ライダー及びメカニックは本年度のMCFAJライセンスがあれば入場できます。パドック内もOKです。
- 2) ライセンスのない人はパドックパス付き入場券が必要。同封した入場券3枚はお友達ご家族でご利用ください。

※ライセンスの不正使用はペナルティとして¥5000の罰金を科すものとする。また、度重なる不正使用については当該クラブの出場停止とする。

4; 連絡車

パドック内連絡車は自転車のみとする。スケートボード、ミニバイク、原動機付き等の入場は不可。

5; 参加受付 (MCFAJ クラス→タイヤガレージ前 MCFAJ 受付にて発信器受付と同時にいきます)

- 1) 大会当日 AM 6:30～7:30

★参加賞、大会プログラム、ポスターを配布します。上記受付テントまでお越しください。

★ボンダー受付→全クラス対象。貸出の際に保障料(使用料)をいただく方法は以下の通りです。

- 1) 受付時(貸出時)に2000円をお預かりします。

- 2) レース終了後、ボンダー返却時に1000円返却します。(残金は事故等で破損した場合の補償金とします)。

※これは持ち帰りを防止する目的と、受付時に紙幣の方が管理しやすいことで導入します。モトクロスで実証済。

※取り付け不備による落下～破損の場合は修理代金自己負担となります。割りピンのタイラップ装着推奨。

★ボンダー返却→MCFAJの決勝終了後、ボンダーの返却はタワー2F「大会事務局」ボンダー窓口になります。

※MAX10、LOC、AVCC、ED3000各グループは、各々の事務局で参加受付、車検、発信機貸出し&返却受付をいたします。必ず参加グループの事務局へ返却してください。

6; 車検

- 1) MCFAJ全クラスは車検場にて車検を受ける。ただしMAX10、LOC、AVCC、ED3000は各グループ事務局にて行う。

★今回も特別に前日車検を行う→9/19(土) **14:00～16:00** (MCFAJのクラスのみ)

レース当日→9/20(日) 7:00～9:30まで行う。タイムアタックの早いクラスを優先する。

- 2) 出場ライダー及びピット員はライセンス、記入済みの出走申告書を添え2名以上で車両及び服装:スーツ(脊

椎パッド装着義務)、ブーツ、グローブ、ヘルメットリムーバー、ヘルメット(スネル M2015・M2020 以降または FIM 規格)の検査を受けなければならない。

・未公認ヘルメットは車検時に検査を行います(公認ステッカー ¥100)。

・車検時はピットクルー・メカニックを同伴し、マシンを完全に整備の上、アンダーカウルを外して持参して受けること。

・車検の際は車検員の指示に従い、再検査の場合は再整備の上もう一度受けること。

なお、役員の指示に従わない場合は出場停止及び始末書処分になる場合がある。

3) 車載カメラの使用について

車載カメラを搭載する場合は事前に「車載カメラ使用申請書」に記入し、カメラ装着状態で車検を受けること。書類は車検場にあります。ホームページにもリンクを貼ります。

ただし使用目的は私的鑑賞用に限られ、競技の抗議資料としての利用は禁止。また営利目的でカメラを搭載する場合は有料となるので、事前に MCFAJ 事務局までご相談ください。

★シートカウルが小さい車両は、ゼッケンナンバーは上部 1 箇所でも可とする。その場合は必ずサポートゼッケンをアンダーカウル下部・後端部に左右装着のこと。

★ゼッケンを出走許可証に記載しました。許可証と違うゼッケンでは出走できませんので必ずご確認ください。

7; ライダースミーティング

AM7:25 ~ 07:40、コントロールタワー前のコース側にて行うライダースミーティングに各クラブより最低 1 名は必ず出席し、注意事項を確認しなければならない。(ミーティング出席カードは省略)

8; タイムアタック

決勝グリッド決めのタイムアタックとなります。全クラス発信器を装着します。

1) コースイン前チェックは B ゲート横のチェックエリアで行う。

2) **B ゲート**よりマシンを押して入場。

3) タイムアタックに出走しない場合、決勝スタートグリッドは最後尾とする。

4) タイムアタック終了(チェッカー)後、本コース上でのスタート練習は厳禁。

5) コースアウトは **A ゲート**より退場する。(最終組は **C** ゲートで退場)

6) タイムアタックに出走出来なかったライダーは決勝レースに出走を希望する場合は大会本部で「嘆願書」を提出し、競技委員長に承認を得なければならない。

7) LOC グループについてはタイムアタック及び決勝時の入場方法とチェッカー後の退出方法は別紙参照。

9; ピット割

ピット割りはありません。各自のレースが終了次第、**次のレースの人が使えるよう速やかにあけてください。**

便宜上 MAX 10 などは最終コーナーよりのピットを指定しました。

10; ウォームアップ

ピットおよびパドック内でのウォームアップは厳禁。必ず**ウォームアップ場**で行うこと。

B パドックに LOC クラスの臨時ウォームアップエリアを設置。なおノーヘルでの走行は禁止とする。

芝生エリアに AVCC 臨時ウォームアップエリアを設置。ただしエンジン始動のみ。走行は不可。

11; ピットクルー(メカニック)のコース入場(サインエリア&グリッド)

1) ライダー 1 名につきピットクルー(メカニック)は 5 名までとする。

2) 保険の関係により本年度の MCFAJ ライセンスを携行してください。(ワンデーピットクルーライセンス含む)

3) **ピットクルーは同封した赤い PIT CREW パスをつけてください。**ハガキサイズのパスケースに入ります。(使い回し禁止)サインエリア、ピットレーンで作業する方は MCFAJ ライセンスもパスケースに提示する。

4) 観戦者用パドックパスのみでサインエリア&グリッドには入れません。

※パスケースは大会本部でも販売しています。

12; グリッド

※決勝グリッドの番号は、必ずライダー本人が確認しておいてください。

- 1) 3-3-3式とし、ポールポジションは1列目アウト側とする。(サイドカークラスは4輪用グリッド使用)
- 2) 「スタート2分前」と「エンジン始動」のサインボードが出たら、タイヤウォーマー等の機材を撤収し、メカニック1名が残りエンジンの始動を行う。
- 3) コース内に入場出来るのは**ピットクルー5人まで**。本年度ピット会員及び当日のワンデーピットクルー登録者のみ。
- 4) **サインエリア&ピットエリア**での傘は使用禁止です。またサンダル・ピンヒール禁止です。子供の入場不可。

13; スタート (決勝)

1) スタート前チェック★集合時間厳守★

スタート前チェックはAゲート横のチェックエリアで行う。ライセンス及び車検合格印のある車両を持参しライダー及びメカニックの2名以上で受けること。MCFAJ ヘルメット公認シールも確認します。

なお、スタート前チェックはコースインの5分前に締め切り、チェックを受けないライダーはリタイヤとみなす。

※遅れた場合はオフィシャルの指示に従うこと。

2) 決勝スタート方法は全クラスクラッチスタートとする。

①コースインは **Aゲート**よりマシンを押して入場。

②グリッドにつき「フォーメーションラップ」を**2周**。(コース状況により1周になる場合もある)

エンジン運転のままグリッド待機。**フラッグタワーのレッドシグナルが点灯し、レッドシグナルが消えたらスタート**。

※フォーメーションラップに入る際、エンジン始動の合図で始動できない場合は直ちにタワー下ピットロードに移動させ、スタート後全車が第1コーナーをクリアしてからその場所よりピットスタートとし、グリッドは最後尾につくこと。

※グリッドについてエンジンストールして停止してしまった場合(スタート直前)はただちに手を挙げて合図し、コース役員の指示によりピットスタートエリアに移動すること。先頭車両がコースを1周通過した時点でスタートできなければリタイヤとする。

※遅れてコースインする方はピットスタート(ピットエンド信号機(青)確認)または最後尾スタートとなる。現場オフィシャルの指示に従うこと。

※エンジン始動時は、いかなる場合もコースを逆走してはならない。またピットロード及びコース横断禁止。

※コース上で車両が停止した場合、ライダーは速やかに車両と共に安全な場所へ移動する。

3) 反則スタート

反則スタートと判断した場合はタイム加算、1週の減算、ピットストップ、失格のいずれかとする。ペナルティは当該ライダーのピット要員またはメカニックにただちに通告されるが、判定に対する抗議は一切受け付けられない。

4) オレンジボール旗: サインボードで示されたゼッケンナンバーの車両は早急にコースサイドへ退去し、安全な場所に停止すること。(オレンジボール旗の無視の場合は失格となる)

5) 黒旗: ブラッグフラッグを提示された数字(ゼッケンNo)の車両はただちに自己のピットに停止しなくてはならない。なお3周以上走行した場合は失格となる。

6) 黄旗: 黄旗区間における危険行為(追い越し・転倒・コースアウト等)については、最大失格の罰則が科せられる。

7) ピットレーンよりコースインする際、1コーナー出口まで内側に沿って走行する。なおホワイトラインカットはペナルティの対象となります。(注)ピットレーン制限速度は40Km/h以下。違反者はペナルティー対象。

14; チェッカー後の追越禁止及びチェッカー無視 (決勝)

1) チェッカーフラッグを受けた後の追越しは厳禁。当該ライダーはペナルティーとして最高1年間の出場停止とする場合がある。

2) チェッカーが出た後、全ライダーに対し各ポストで黄旗の振動で合図する。

3) チェッカーフラッグはフラッグタワー上下の**2カ所**で表示する。(ダブルチェッカー防止のため)

4) ダブルチェッカーを受けたライダーは失格となる。

5) 決勝レース時のゴール後のコースアウトは **Cゲート**より退場すること。(LOC、AVCCは別紙参照)

15; 表彰式

- 1) 暫定表彰：レース終了後、各クラス3位まで表彰台にて暫定表彰される(LOC 除く)。
- 2) 表彰式：各決勝レースの暫定結果発表後、約30分後にコントロールセンター2F大会事務局にて行う。
※ MAX10、LOC、AVCC、ED3000 は各々の事務局にて表彰する。
※入賞者であっても当日表彰を受けないで帰宅した場合は、賞典および副賞を放棄したものとする。
※配布用リザルトはタワー2階への階段を上がって左手の踊り場に設置(コピー代1枚10円)。

16; ライダー及び車両交換

- 1) ライダーの変更はできない。
- 2) 車両交換は競技委員会に申告し承諾を得て車検を受けた場合のみ考慮される。ただしゼッケンナンバーは変更できない。
- 3) クラス変更はできない。

17; 競技規則の違反に対する罰則

大会期間中(競技中も含む)競技規則に違反する行為、及び暴力的な言動・行動に対しては大会審査委員会並びに競技監督、競技長の権限で戒告、厳重戒告、罰金、ピットストップ、タイムの加算、周回数の減算、出場停止、失格処分等の罰則を科すことができる。

18; その他の注意事項

- 1) レース終了後の車両再検査
各クラス上位3位までの車両は直ちに再検査を行う。場所は表彰台前にて行います。
混走の場合も各クラス上位3位までとする。
参加台数1台のみのクラスは記念品としての副賞があります。完走後タワー2F大会事務局へお越しください。
再検査においてワイヤーロックの5項目に不備があった場合はペナルティーとして¥5000の罰金とする。
※ MAX10、LOC、AVCC、ED3000 グループは各々の事務局にて再検査する
- 2) ゼッケン
書体はフーツラボールドを基本とし蛍光色、飾り文字のゼッケンは禁止。

Eアンリミット	青地に白文字	Nアンリミット	黄地に黒文字
プロダクション600	青地に白文字	GP125	赤地に白文字
スーパーモンスター80'S-(A)	白地に黒文字	スーパーモンスター80'S-(B)	赤地に白文字
クラブマンNEO(250/A/B)	白地に黒文字	2&4	赤地に白文字
NP150	黄地に黒文字	サイドカー(F1)	赤地に白文字
COTT クラス	緑地に白文字	サイドカー(F2)	白地に黒文字
CSSC オープン	黄地に黒文字	※←基本書体(フーツラボールド)以外にAMA書体も可	

※オーバー40レジェンドは白地に黒文字を基本とするが、他クラス出場の際はそのゼッケンカラーでも可。

※ MAX10、LOC、AVCC、ED3000 グループは各々の事務局の指示にしたがうこと。

- 3) ワイヤーロックのワイヤーはステンレス製で0.6mm以上のものとする。
- 4) フロントフェンダーをタイラップ等を使って固定してはならない。
- 5) ゼッケンの下地にガムテープを使用してはならない。
- 6) コースインの前にオイルキャッチタンクは必ず空の状態にしておくこと。
- 7) すべての4スト車両はオイル溜めとしてのアンダーカウルを装着すること。
- 8) コース側の規制によりペットは入場できません。
- 9) パドック内での飲酒・喫煙・電子タバコは禁止されております。喫煙は必ず指定された喫煙所をご利用下さい。
- 10) パドックは火気厳禁!バーナーやコンロでの調理やバーベキューも厳禁です。
- 11) 使用済みタイヤ及び廃棄物は必ずお持ち帰りください。

★ゼッケンナンバーを出場許可証に記載しました。許可証と違うゼッケンナンバーでは出走できません。